

ID番号

平成 年 月 日

放射線内部被ばく健康影響調査（平成24年度継続調査）結果通知書 （第2回有識者会議協議事項たたき台）

岩 手 県

1 氏名等 _____ 様（生年月日：平成 年 月 日、性別： ）

2 測定結果（尿1リットル中に、どれだけ放射性物質が含まれているか測定した結果）

核 種	前回測定結果 (Bq/l)	今回測定結果 (Bq/l)
I-131 (ヨウ素131)	(検出限界0.00) 不検出	0.00
Cs-134 (セシウム134)	0.00	0.00
Cs-137 (セシウム137)	0.00	0.00
K-40 (カリウム40)	00.0	00.0

注1) K-40(カリウム40)は、天然に存在する自然放射性物質です(カリウムに一定割合で存在)。
注2) 放射線医学総合研究所では、尿1リットル当たりのK-40排出量について日本人(全年齢平均)で約40ベクレルと試算しています。

3 1日の排泄量（どれだけ放射性物質を1日に排泄しているか算出した結果）

核 種	前回結果 (Bq/日)	今回結果 (Bq/日)
I-131 (ヨウ素131)	不検出のため算出不能	0.00
Cs-134 (セシウム134)	0.00	0.00
Cs-137 (セシウム137)	0.00	0.00
K-40 (カリウム40)	00.0	00.0

注1) 1日の尿量及び排泄した放射性物質量は、問診票の採尿記録から算出します。
注2) 採尿記録が一部欠落等している場合は、採取できた採尿時間と尿量から時間当たり平均尿量を計算し、1日当たり尿量を推計しています。

4 放射性セシウムに係る預託実効線量（生涯累積の内部被ばく線量を算出した結果）

核 種	前回結果 (mSv)	今回結果 (mSv)
Cs-134とCs-137の計		

注1) 預託実効線量 (mSv) とは、体内からの内部被ばく線量について、成人で50年間、子どもで70歳までの生涯の累積線量を示すものです。
注2) 預託実効線量の推計は、独立行政法人放射線医学総合研究所が開発したアプリケーションソフト「MONDAL3」に、年齢、測定結果、1日尿量等を入力して推計・評価します。
注3) 推計・評価する際は、平成23年3月12日から尿採取終了日の前日まで、飲食物から一定の放射性セシウム量を摂取したという「慢性経口摂取モデル」を採用しています。

5 有識者会議からのアドバイス

(例) 調査の結果、あなたは前回調査結果と比較して・・・・・・・・。

(調査結果を受けた大まかなコメント内容については、調査結果により類型化することも含め、次回有識者会議において素案を提示。個別のアドバイスが特に必要な場合等は、座長の指名する有識者会議メンバーに個々に相談することとしてはどうか。)